

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 誠和	代表者	赤島 耕一路	法人・事業所の特徴	当法人は地域の中で20年の運営実績があり、特別養護老人ホームを中心に多種の高齢者施設を運営しているため、介護度や状況に合わせたサービス事業所選択が可能となっている。また、法人全体で地域福祉の向上に取り組んでいる。
事業所名	グレースケア あじさい	管理者	米盛 宏康		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	人	人	人	3人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	書類の不備があった為、評価が得られなかった。配布時の書類の確認・内容を再確認する。	書類の作成時に内容確認して、配布。		職員間で話し合う場、カンファレンスを開催し情報共有、スキルアップをする。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内環境部分の点検と劣化部分の修繕。フロー内環境を整え快適な生活空間を作る。	施設内の建物・備品の故障、修繕箇所を確認して、劣化している部分の修繕と修理を実施。	特に気になる部分はなし。施設の中まで入る事は少ないが、冷暖房も調整してもらっている。	引き続き劣化部分の点検・修繕と必要物品を購入で過ごしやすい生活空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	カフェを地域の方が誰でも気軽に参加することが出来るように案内方法やネーミング・内容等を変更する。	地域交流カフェのネーミングを変更。「あじさい喫茶」にして、誰でも気軽に参加できるネーミングに変更。	地域の方は、どの辺りの方が来ているのか？長浜地区の方が多く参加している。最近では、牛窓の方が散歩の便で休憩所として来られる。	「あじさい喫茶」がマンネリ化しないように開催期間、内容を見直す。地域での行事等へ参加をする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	本人・家族に地域支援（サロン・老人会・友人との外出等）におけるニーズを抽出して、活動に向けての取組みを実施する。	外出援助により、季節を感じていただけの企画を立てた。個々のニーズを抽出して、実施するまでは、地域資源の制限がある。	利用後、本人は、覚えてない事も多いが、送迎のスタッフから、その日の活動内容や表情など報告をしてもらえたのが嬉しかった。	年間計画に沿った行事内容を実施。個々のニーズを把握して活動への参加を図る。また、地域資源の発掘など情報を把握。
E. 運営推進会議を活かした取組み	案内の文章をわかりやすい物へ変更して、運営推進会議の参加をしやすくする。	文書の内容を変更。参加人数は増えてなくて、同じ方が継続して参加している。	運営推進会議の名称がかたい。参加してみると気軽に話ができる会議だとわかった。	運営推進会議の内容を見直し、案内を文章で配布後に口頭での案内をして、気軽に参加できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練時の様子をホームページやあじさいだよりを活用して報告をする。	ホームページ、あじさいだよりへ活動の写真を載せることで、地域の方に施設内での訓練の様子を報告。避難場所として、法人として、台風接近での避難受け入れを実施。	どれくらいの頻度で避難訓練を実施しているか？定期的に実施。日中想定・夜間想定・津波想定をしている。	避難訓練時の様子をホームページやあじさいだよりを活用して報告。避難訓練の回数を増やす。